

## 学生フォーラム報告書

北海道大学医学部 6 年 川井直久

私が参加した医学生フォーラムでは、与えられたテーマについておのおのが伝えたいアイデアを簡単なスライドにまとめて持ち寄り、6～10人のグループでディスカッションをしました。そして、グループで1つのプレゼンを作り発表しました。私のグループは着床前診断・NIPTについてテーマが与えられていたため、無認可施設でNIPTを受検する人が増加していることに着目し、無認可施設でNIPTを受検することの問題点や今後NIPTを管理する側がどのような対応を行えばよいのかについて議論しました。私はこれまで学生のワークショップに参加したことがありませんでしたので、現地での産婦人科志望の学生たちと話し合いは、トークスキルやアグレッシブさが私とはくらべものにならず、意見がぶつかるたびに感じられるダイレクトな熱意を感じ取れたのが大変刺激になりました。コロナ下にもかかわらず現地会場に学生を派遣くださったWINDの先生方のおかげで貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

北海道大学医学部 6 年 須藤ゆきほ

私は今まで学会というものに参加した事がなく、初めて会った他大学の学生と議論してプレゼンを作りあげるという経験もありませんでした。そのため、学生フォーラムへの参加が決定してからその当日まで、本当に自分が他の学生と同じレベルで話し合うことができるのだろうかと不安を感じていました。また、今回与えられたテーマが「産婦人科医の働き方改革」と今まで考えたことのないものであり、将来に対して漠然としたイメージしか持っていない自分にとってはとても難しく感じるテーマでした。しかし議題と向き合う中で、井平先生のご指導もあり、自分なりに考えをまとめていくことが出来ました。実際にフォーラムで他大学の人たちとディスカッションをした時、参加している学生各々で意見を出し合っただけで一つの方向性に揃えていく感覚は、新鮮で刺激的なものでした。本当に貴重な体験をする機会をいただいたと感じています。



